

令和6年度 市政懇談会 開催議事録

開催日時：令和6年5月29日（水）午後6時30分～午後8時00分

開催場所：地域交流センターいわま「あたご」 多目的ホール

出席者：7名

《意見交換》

- 1 消滅可能性自治体について
- 2 今後の取り組みについて
- 3 梨の盗難被害について
- 4 ごみを減らすための取り組みについて
- 5 あたご天狗の森公園リニューアルによる観光理念の変化について
- 6 あたご天狗の森公園リニューアル後の施設について
- 7 ハイキングコースの多言語表記について
- 8 マリッジサポーターについて

1 消滅可能性自治体について

【意見等】

消滅可能性自治体について、人口戦略会議に意見書を出したとの報道があったが、応答はあったか。

【回答】

人口戦略会議に意見書を提出後、応答はない。

2 今後の取り組みについて

【意見等】

市長が今後、特に力を入れたい取り組みは何か。

【回答】

将来の世代に負の遺産や負担を残さないことが重要。税金・公共料金等の支払いが大きくなることで可処分所得が減れば、勤労意欲は低下する。できるだけ負担を残さないよう整理できるものは今のうちに整理すべきと考える。

3 梨の盗難被害について

【意見等】

昨年、梨の盗難被害があり、被害が出た後に笠間警察署に被害届を提出し、弁護士や市の農政課にも相談したが、市として対策を考えてもらうことはできないか。

【回答】

市の対策として、例えば、SNSで注意喚起するなど、すぐに対応できることがある。他には、市と協力して防犯カメラやセンサーライトを設置し、そのことを周知することで、抑止力を高めることができる。絶対に盗まれない方法はないが、抑止力を高めることが重要。資金が必要な対策もあるため、生産者と市でよく話し合いながら、必要な支援を市で行うこともできる。農政課から部会長に連絡するので、状況を聞かせてほしい。

4 ごみを減らすための取り組みについて

【意見等】

ごみを減らすため生ごみを燃やすのではなく、微生物の分解を利用して堆肥にするなどの対応は可能か。

【回答】

燃えるごみの中から生ごみを分けて回収することは、住民の意識・資金・労力などが必要であり、行政にとって負担が大きい。市としては、バイオマスを発酵させて発電に利用することなども検討しているところである。

5 あたご天狗の森公園リニューアルによる観光理念の変化について

【意見等】

あたご天狗の森公園の施設リニューアルで、観光理念がこれまでと変わったように感じるが、改めて現在の観光理念を教えてほしい。

【回答】

観光は地域をつくる一つの産業であり、地域資源を活用し変えていくことで注目を浴び、(新たに)稼ぐことや観光誘客に繋がっている。昔は観光といえば施設見学が主流であったが、今は体験や自然そのものを楽しむなど幅が広がっており、それらを活用することで地域活性化を図ることが観光の理念であると考えている。

6 あたご天狗の森公園リニューアル後の施設について

【意見等】

リニューアル後の施設や考え方の変化など、疑問を感じる点を伺う。

リニューアル前のフォレストハウスに設置していた桜関連のマップや写真等を設置しなくなったのはなぜか。

カフェのデッキにあるイスは、カフェ利用者以外が座れない雰囲気であり疑問を感じる。

階段に手すりがない、丸棒が露出しているなど、安全面で問題がある箇所が複数ある。

リニューアル前の建物を利用している部分で、土台の腐食・タイルが剥がれている箇所がある。

シャワー室を利用すると壁を伝って水が下の芝生に落ちたり、一部カビが生えているドアがあったりと建物の造りに驚いている。

駐車場トイレの沈殿槽に溜まった水が溢れることがあり、観光協会に伝えても解決されない。

飲み物の自動販売機のみ3台設置されており、アイスの自動販売機がない。子どもからアイスの自動販売機がないかと聞かれる。

【回答】

施設の老朽化だけでなく、愛宕山の眺望や景観をより多くの人に楽しんでもらうことを目的に宿泊施設やあたご天狗の森を改修したものであり、観光振興に繋がると考えている。施設を改修したことによる建物の造りやスペースの問題で、これまで置いていた掲示物等が設置できなくなりましたが、ぜひ見てもらいたいものや置いてほしいものなどは、(見せ方を替えることもできると思うので)積極的に提案してほしい。

建物の施工内容、階段の手すり等の安全面は、人によって感じ方が異なるものであり、指摘された部

分の改修の必要性については検討する。

ドアのカビは、設計段階でコーティングの必要性等を考慮して施工したものであるが、衛生面や管理面、景観上の問題もあるため、カビかどうかも確認し除去の要否などを確認する。

自動販売機の内容は、飲み物・食べ物・アイスのほか、台数を増やせるかなど、お客さんの意見を聞きながら検討するよう指定管理者である笠間観光協会に伝える。

7 ハイキングコースの多言語表記について

【意見等】

インバウンドが増加していることから、愛宕神社や愛宕山・吾国山・難台山のハイキングコースの看板等を英語・中国語・韓国語などの多言語表記にしてはどうか。

【回答】

多言語表記は必要だと思うので、案内板への文字併記・二次元コード（QRコード）の活用などを検討する。

8 マリッジサポーターについて

【意見等】

いばらき出会いサポートセンターが実施しているマリッジサポーターを市でも導入してはどうか。

【回答】

オンラインを活用した出会いの創出は成果が出ていると聞いているので、結婚の施策はよく検討していきたい。